

教育委員会 臨時会（ 9月 ）会議録						
招 集 年 月 日	令和 3年 9月 4日（土）午後 1時30分					
招 集 の 場 所	白馬村保健福祉ふれあいセンター 3階 白馬村教育委員会事務局教育課					
開 閉 会 の 日 時 及 び 宣 言	開 会	令和 3年 9月 4日（土）午後 1時30分				
	閉 会	令和 3年 9月 4日（土）午後 2時33分				
出 席 委 員	職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	教 育 長	平林 豊	委 員	伊藤 公一	委 員	田口 令子
	教育長職務代理者	幅下 守	委 員	西澤みどり		
学 校 関 係	白馬北小学校長	松 下 設 吉	白馬中学校長	浅 原 昭 久		
事 務 局	教育課長	横 川 辰 彦	教育係長	中 村 由 加		

会議の要旨

1 開 会

[教育長]

開会を宣言した。

2 報告事項

(1)児童生徒の新型コロナウイルス感染状況について

[教育課長]

8月のお盆過ぎ以降に10名の児童・生徒が新型コロナウイルス感染症に感染した。児童・生徒の感染状況を見ると、8月後半に事例が急速に増えてきている。それに伴い、感染不安から自主休校する児童・生徒も増えており、9月3日の時点で南小は0人だが、北小は36人、中学校は2人である。家庭内感染が、家庭から家庭へ感染拡大し、学校が始まってきているという状況である。兄弟で同じ頃に感染が判明しても、発症日の違いからその後の対応に違いが生じている。保健所によると、発症日等の2日前から感染リスクは高いということである。感染した児童・生徒の最終登校日が感染リスクの高い時期と重なっていたクラスについては学級閉鎖とし、同じクラスの子ども全員を対象にPCR検査を行う予定である。また、保健所の助言により、感染経路は不明だが複数の感染者が出ているクラスについても、急遽PCR検査を行うこととした。その他に、濃厚接触者となった生徒の場合も、最終登校日が感染リスクの高い時期と重なっていることや陽性になる可能性が高いことから、保健所の指示で濃厚接触者の生徒のクラスを学級閉鎖にする方向である。現在は小学校で2クラスを学級閉鎖とし、中学校で1クラスを学級閉鎖にする予定である。

(2)児童生徒が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の対応・方針について

[教育課長]

教育委員会が「感染として初動する事例」「感染として初動しない事例」について挙げ、報告や出席停止措置といった「感染の初動」や、設置者として「休業措置」を取る判断基準について示す。学校が感染の原因になっていると判断される場合には休業措置をとる。しかしながら、一斉休業は社会的な影響が大きいため、極力避けるよう国から通達が出ている。クラスごとの出席停止、学年ごとの休業・分散登校、全部休業と状況を見ながら段階を踏んで対応していく。今後、このような事例が増えれば、学校等の状況を聞きながら教育委員の意見を聞いて判断していくことになると思われる。今回の対応方針は、長野県警戒レベル5の状況下において、国が示す「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルス感染症が確認された場合の対応ガイドライン」を参考に示したものであり、今後の警戒レベルや感染状況に応じて対応方針の見直しを行いたい。この対応方針について、昨日村のホームページにアップした。また、PCR検査実施の目安についても、保健所の助言に沿った判断基準で事例を交えて示したものをホームページにアップした。本日、ウイング 21 において、ドライブスルー方

式で集団のPCR検査を実施している。対象者は約 35 名で、接触者扱いの任意の検査である。

3 協議事項

○新型コロナウイルス感染症に対応した学校運営について

[白馬北小学校長]

北小については、5 名の児童の感染者が出ている。感染者や濃厚接触者が出る度に保護者に絆メールでお知らせしているが、どういった関係性で発症しているかについて保護者は知ることができないので、学校で感染が拡大しているのではないかという不安が大いにあると思われる。9 月 3 日の自主休校者が 36 名ということだが、全体の 2 割くらいが休んでいるクラスもある。今日も新たな児童の感染者が 1 名出たので、配信されるメールを見て不安はまた広がると思う。今の状況からすると、予想していなかったところから新たな感染事例が発生しており、個人的には該当学級のみならず全校を一旦止めざるを得ないのではないかと感じている。感染から発症まで 5 日くらいかかると言われているので、9 月 8 日までは一斉休業で様子を見て、大丈夫であれば 9 日から登校再開としたいと考えているが、教育委員会のご判断をいただきたい。PCRの集団検査も 9 月 7 日には結果がわかるので、結果を受けて 8 日まで対応を協議することを考えて 8 日までの休業としたい。一斉休業の期間中は、家庭で児童の健康観察を注意深くしてもらい、少しでも症状が出れば医療機関に受診してもらうことをお願いしたい。また、学校側はプリントとオンラインを併用したハイブリッドの授業を進め、一斉休業期間開けにタブレットの持ち帰りを行う予定でいる。

[白馬中学校長]

夏休み明けから配信型のオンラインを併用した授業を実施している。感染不安や体調不良等の生徒はオンラインを選択することも可能となっている。オンライン授業を選択している生徒は 8 月 30 日～9 月 1 日にかけて 30 人程いるが、ワクチン接種の副反応による体調不良でオンラインを選択している生徒が一番多い。コロナ不安による自主休校は数名程度。その他に感染者や濃厚接触者となってしまってオンライン授業を受けている生徒もいる。昨夜、新たに生徒 1 名が濃厚接触者になったとの報告があった。中学校の場合は、スケジュールが密で一日の学習の遅れを取り戻すのが難しい。現在はまだ濃厚接触の段階なので授業を普通に継続できたらという思いはあるが、7 日まで学級閉鎖とするのは致し方ないと感じている。それに伴い学級閉鎖のクラスには、配信型ではなく双方向型のオンライン授業を行う予定でいる。今回の学級閉鎖については、学校保健法第 20 条ではなく 19 条の適用としたい。学級閉鎖にするかしないかの最終的な判断については、村教育委員会の判断に従う。

[教育課長]

学校保健安全法第 20 条の休業の場合は、教員も休業扱いになると思われる。19 条の場合は、生徒に対しては感染のリスクがあることから出席停止とするが、学校はやっているので先生は仕事をすることか。

[白馬中学校長]

そうです。学校に来られない子どもに学力保障をすることは大事なので、教員はそのための労力は惜しまない。

[教育課長]

北小の一斉休業の場合に、教員も感染のリスクから休業させるのか、それとも児童は感染リスクから出席停止にする一方で、教員は学校の清掃や消毒、プリントや教材の準備を行なってもらうということにするか。

[白馬北小学校長]

教員は出勤停止としなくて良いと思う。ただ、6 日にPCR検査を受ける教員が 2～3 名いるので、その職員については結果が出るまで自宅待機してもらう。

[教育長]

これまでの学級閉鎖は校長判断の 19 条を適用している。北小については、今回の集団PCR検査の結果で陽性者が出た場合は、臨時休校した方が良いと考える。臨時休校となれば 20 条を適用し、設置者の判断で休校となる。陽性者が出なかった場合は臨時休校する必要はないかもしれないが、保護者の不安もあるので 2 日ほど学校を止めることも考えられる。

[教育長職務代理者]

北小について、校長の考えでは検査結果がわかる 9 月 7 日までは一斉休業するということであったが、教育長の言う陽性者が出なかった場合の 2 日休業というのは 7 日以降の 2 日ということか。

[教育長]

そうです。

[教育長職務代理者]

白馬北小学校長の意見は 8 日まで一斉休業した方が良いという意見だった。

[白馬北小学校長]

8 日までの根拠は、感染から発症まで 5 日くらいかかると言われていて、直近の感染児童の最終登校日が 9 月 2 日だったことから、もし感染していればそれから 5 日後の 7 日までに発症する可能性が高いので 7 日まで様子を見て 8 日に判断し、そして早ければ 9 日から登校再開とすれば良いのではないかと考えている。

[委員]

6 日の PCR 検査結果が 7 日に出て、その後の対応のことも考えれば 8 日までの休業で良いのではないか。PCR 検査の結果で新たな陽性者が出れば、最終登校日が 9 月 3 日の可能性もあるわけだから。

[白馬中学校長]

中学はまだ濃厚接触者の段階なので、2 日間の学級閉鎖を考えている。できるだけ工夫しながら学びを止めないようにしたい。

[委員]

誹謗中傷に関する問題はあるか。

[白馬中学校長]

中学の状況を見るに、感染者等を特定するような様子はないように思う。割と子どもたちは冷静で、誰もがなることと捉えていて、排他的な感じは見受けられない。

[委員]

感染者本人が気に病んでいるような様子はあるか。

[白馬中学校長]

出席停止期間が終わって登校してきた生徒を見るに、自宅からでもオンライン授業に参加し学校と繋がっていたので、疎外感なく登校できているように見受けられる。

[白馬北小学校長]

北小も色々な理由から休んでいる子どもが多く、濃厚接触者となって 2 週間休んでいる子どももいるので、特別なことと捉えていないように思う。また、誹謗中傷については昨年から繰り返し指導してきているので、今のところ問題はないように思う。

[教育長]

・白馬中学校については、濃厚接触者が出たクラスを 6・7 日の 2 日間、校長判断で出席停止。

・白馬北小学校については、6・7・8 日を学校設置者による臨時休業とすることに、全員の賛成により可決された。

[教育課長]

小学校休業中の低学年児童の受け入れについては、児童クラブを午前中から開設することで対応する。子育て支援課長と調整するが、できるだけ自宅待機をお願いして、無理な場合は個別に相談に応じたい。

5 その他

○当面の学校行事について

[白馬中学校長]

9 月 6 日に延期した 1 年生の唐松登山は、10 月に八方池トレッキングに振り替える予定でいる。同日予定の 2 年生のスノーピーク宿泊キャンプは、10 月に岩岳を拠点とした宿泊学習に振り替えたいと考えている。9 月下旬の総合発表会は、感染レベルによっては保護者の参観を見合わせざるを得ない状況であるが、できることをやっていく。10 月下旬の修学旅行については、昨年と同様に東北方面を計画しているが、10 月 8 日までの状

況で行き先等を判断していきたい。

[白馬北小学校長]

10月中旬の音楽会は、レベル4までは連学年毎に保護者入れ替え制で行いたいと考えている。レベル5の場合は、昨年同様録画形式で、音楽会の様子はユーテレで放送してもらう予定。大北の吹奏楽交歓演奏会は中止になった。

[教育長]

9月26日の大北スポーツ競技会は、開会式は行わないが競技は実施する予定。

[委員]

小学校の修学旅行は、県内の南の方面で検討されていると聞いている。元々はディズニーの予定だったので、楽しめる方向で考えていただけたらありがたい。

[白馬北小学校長]

検討する。

6 閉 会

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	